

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 9 日現在

機関番号：17102

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2010～2013

課題番号：22730141

研究課題名(和文) 東アジアにおける国家と市民社会 地域統合のトラック別分析

研究課題名(英文) State and Civil society in East Asia: Track analyses of regional integration

研究代表者

大賀 哲(OGA, Toru)

九州大学・法学(政治学)研究科(研究院)・准教授

研究者番号：90445718

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,800,000円、(間接経費) 840,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、東アジアの「地域主義」や「地域化」といった規範・言説が、国家だけではなく市民社会において如何に受容され、そうした地域主義秩序において国家と市民社会の関係がどのように位置付けられ得るのかを体系的に考察するものである。とくにトラック別分析を採用し、国家主体としてのトラック、政府と民間主体の混成組織としてのトラック、純然たる民間主体としてのトラックを区別し、北東アジア・東南アジア・東アジアのそれぞれにおける地域主義と地域化の認識規範の変容を考察しながら、東アジア地域統合に通底する秩序「規範」を詳らかにした。

研究成果の概要(英文)：This research explores how norms and discourses on regionalism and regionalization of East Asia have been constituted not only in the states but also in the civil society, and systematically analyzes how the states and civil society have been placed in the regional integration. Not least, this research employs track analysis: it distinguishes the track I as the state actors, track II as combining organizations between states and society, and track III as civil society organization, and explores the norms of the East Asian regional integration, while examines the changing natures of regionalism and regionalization norms of Northeast, Southeast, and East Asia as a whole respectively.

研究分野：政治学

科研費の分科・細目：国際関係論

キーワード：ASEAN 地域統合 東アジア トラック トラック

1. 研究開始当初の背景

申請者はもともとアジア地域主義を考察対象として、とりわけ国家間関係における地域主義の規範や言説が如何に付帯・定着・変容し得るのかを、APEC、ASEAN+3 を事例として研究していた。本研究は、この成果を受けて、地域統合における地域主義や地域化といった規範・言説が、国家だけではなく市民社会において如何に受容され、かかる地域主義秩序において国家と市民社会の関係がどのように位置付けられ得るのかを体系的に考察することが目的である。

2. 研究の目的

上記1とも重複するが、本研究の目的は、東アジアの「地域主義」や「地域化」といった規範・言説が、国家だけではなく市民社会において如何に受容され、かかる地域主義秩序において国家と市民社会の関係がどのように位置付けられ得るのかを体系的に考察することである。

3. 研究の方法

本研究では、トラック別分析を採用し、国家主体としてのトラックⅠ、政府と民間主体の混成組織としてのトラックⅡ、純然たる民間主体としてのトラックⅢを区別し、北東アジア・東南アジア・東アジアのそれぞれにおける地域主義と地域化の認識規範の変容を考察し、東アジア地域統合に通底する秩序「規範」を詳らかにする。

4. 研究成果

本研究の成果として『東アジアにおける国家と市民社会—地域主義の設計・協働・競合』（単著、柏書房、2013年）と『北東アジアの市民社会』（編著、国際書院、2013年）を出版した。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 9件）

大賀哲「東アジアにおけるトラックⅡ外交の展開—東アジア・シンクタンク・ネットワーク（NEAT）と東アジア共同体評議会（CEAC）を事例として」、『法政研究』、第76巻第4号、65—77頁、2010.03.

大賀哲「東南アジアにおける市民社会と人権概念の変容—ASEANの市民社会とネットワーク NGOs を事例として」、『九州大学アジア総合政策センター紀要』、第4号、21—33頁、2010.03.

大賀哲「国際政治学における地域主義研究の動向と課題—東アジア地域主義論についての予備的考察」、『法政研究』、第77巻第1号、65—141頁、2010.07.

大賀哲「アジア市民社会論の構想」、『法政研究』、第77巻第1号、143—150頁、2010.07.

大賀哲「ASEANにおける市民社会論と地域主義論の交錯—トランスナショナル市民社会による地域主義の再定義」、『法政研究』、第77巻第4号、99—130頁、2011.03

大賀哲「アジア地域主義における主権規範と人権規範—その受容・競合・複合化」、『政治研究』、第58号、25—57頁、2011.03.

Toru Oga, "Asianization and Rediscovering "Regionness": from Interstate Relations to Regional Identity", Yusuke Murakami, Hiroyuki Yamamoto, Hiromi Komori (eds.), *Enduring States: In the face of challenges from Within and Without*, Kyoto University Press, pp. 256-83, 2011.03.

大賀哲「アジア主義と地域主義の交錯—『開かれた地域主義』におけるアジア主義の遺産」松浦正孝編『アジア主義は何を語るのか—記憶・権力・価値』（ミネルヴァ書房、2013年）

Toru Oga, "Is ASEAN People-Oriented or People-Centred?: The evolution of regionalism between governments and civil society, and the effect of differing concepts on the drafting of the ASEAN Charter." Hyun-Chin Lim, Wolf Scafer, and Suk-Man Hwang (eds.) *Global Challenges In Asia: New Developments Models and Regional Community Building*, SNU Press, 2014.

[学会発表] (計 10件)

Toru OGA, "Transformation of concepts of civil society and human rights in Southeast Asia: Cases of civil society and network NGOs in ASEAN," Midwest Political Science Association (MPSA), 2010.04.23.

大賀哲「アジア主義とグローバリズムの交錯—『開かれた地域主義』の思想的配置」, 「アジア主義の広域比較研究」シンポジウム (北海道大学), 2010.09.25.

大賀哲「都市の地域化と国際化—福岡市の国際交流言説における政治と経済の位相」, 第三回アジア市民社会公開シンポジウム, 2011.03.13.

大賀哲「アジア地域主義における主権規範と人権規範—その受容・競合・複合化」, 政治研究会・合評会, 2011.04.16.

Toru OGA, "Is ASEAN people-oriented or people-centred?: An evolution of regionalism between governments and civil society in making the ASEAN Charter," SNUAC International Conference, "Global Challenges in Asia," Asia Center, Seoul National University, 2011.10.20.

Toru OGA, "Between Global or Regional: Internationalization, Transnationalization, and Regionalization in the Networks and Governance of Fukuoka City," Intercity networks and urban governance in Asia, Asian Research Institute, National University of Singapore, 2012.03.08.

Toru OGA, "ASEAN Human rights mechanism and the role of civil society: Cases of LAWASIA and Forum-ASIA," ASIAN LAW INSTITUTE CONFERENCE, Faculty of Law, National University of Singapore, 2012.06.01.

Toru OGA, The U.S. - Japan alliance and East Asian Regionalism, USJI Week, U.S.-Japan Research Institute, 2013.02.28.

Toru OGA, "Regionalizing the Global, and Globalizing the Regional: Japan and

China on East Asian regionalism", CBC conference, The Study of South Asia: between Antiquity and Modernity: Parallels and Comparisons, 2013.09.07.

Toru OGA, "Legalization of regionalism: Transformation of Civil Society and Human rights mechanisms in ASEAN," Asian Society of International Law, 2013.11.16.

[図書] (計 2件)

大賀哲『東アジアにおける国家と市民社会—地域主義の設計・協働・競合』(柏書房、2013年)

大賀哲編『北東アジアの市民社会』(国際書院、2013年)

[産業財産権]

○出願状況 (計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

大賀 哲 (九州大学)

研究者番号 : 90445718

(2) 研究分担者

()

研究者番号 :

(3) 連携研究者

()

研究者番号 :